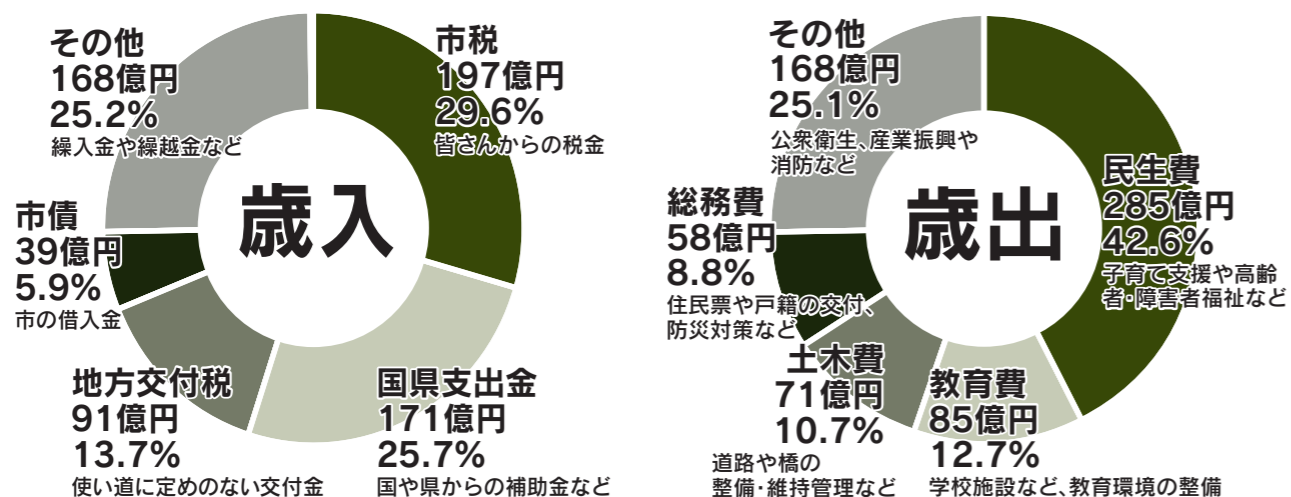


一般会計 当初予算額 669億2,677万円

一般会計予算額の内訳



歳入の根幹である市税のほか、国県支出金などを最大限活用すると共に、必要な費用については市債を発行するなど、財源の確保に努めています。

子育て支援や高齢者・障害者福祉などの民生費が全体の4割以上を占めています。歳出は市民1人当たり約47.8万円が使われます。
※令和8年3月1日現在の人口139,991人で計算

深谷市の総予算

区分	令和8年度	令和7年度	前年度比
一般会計	669.3億円	653.9億円	2.3%
特別会計			
国民健康保険特別会計	146.9億円	148.3億円	▲0.9%
後期高齢者医療特別会計	44.2億円	40.2億円	9.9%
国済寺土地区画整理事業特別会計	3.1億円	11.4億円	▲73.1%
企業会計			
水道事業会計	65.8億円	54.4億円	21.0%
下水道事業会計	71.4億円	74.6億円	▲4.4%
総計	1,000.7億円	982.9億円	1.8%

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計などが一致しない場合があります

一般会計は、市の基本的な経費を扱う会計です。
一般会計以外には、特別な目的のために使う「特別会計」、水道事業など特定の事業を管理する「企業会計」があります。

予算のことをもっと詳しく知りたいかたはこちらをご覧ください。

一般会計・特別会計



企業会計(水道事業)



企業会計(下水道事業)



令和8年度まちづくりの方針と

予算

今年度は、社会情勢の大きな変化に対応するため、生活者重視の取り組みを主眼に予算を編成しました。

固財政課 (☎574-6632)



予算編成の3つの観点

いのちと健康

のために

主な事業

・地域医療推進事業
看護師同席の下、小児科医がオンライン診療を行うサービスを実施。地域の医療環境の充実を図る

安心できる

暮らしのために

主な事業

・消防分署整備事業
花園分署の建て替え工事、上柴分署の設計業務委託を行う。消防力の基盤を整備し、災害対応力の向上を図る

便利で快適

な暮らしのために

主な事業

・こども館運営事業
県内最大級の子育て拠点『こどもふっかパーク』が4月1日オープン。子育てを支える魅力ある拠点を創出

〈令和8年度施政方針より抜粋〉

〈責任と覚悟をもって前に進む〉

深谷市長 小島進



昨年、物価高騰が長期化し、市民生活に大きな影響を与えた一年でした。一方で、『青洲沢沢栄一先生像』・『祭魚洞沢沢敬三先生像』の移設建立という令和7年を象徴する明るい出来事もありました。栄一翁の精神や敬三先生の教えを大切に、今後のまちづくりに生かしながら未来へと継承していくことが重要であり、より良い深谷市になるよう市民の皆さまと共に歩みを進めてまいります。振り返れば、これまでの市政運営は決して平坦な道ではありませんでしたが、それでも前に進むことができたのは、『だって深谷が好きだから』にほかなりません。4期16年の任期を経た今も、『ふるさと深谷』をもう一步前へ進めたいとの思いをこれまで以上に強くしております。こうした考えを基本として、令和8年度の市政運営に当たり、次の3つの観点から生活者重視の取り組みの展開を図ることを主眼に、予算編成を行いました。

第1に『いのちと健康のため』、第2に『安心できる暮らしのために』、第3に『便利で快適な暮らしのために』です。

3つの観点から、令和8年度における市政運営を進めることとし、これまで以上に現場主義を貫き、市民の皆さまと共に考え、共に行動する市政をこれからも一歩一歩積み重ねてまいります。その根底にあるのは、深谷への変わらぬ愛着と、困難な課題にも正面から向き合い、責任と覚悟をもって前に進むという自身の政治姿勢です。市民の皆さまには引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

消防分署整備事業 8億8,977万3千円

花園分署、上柴分署の再整備

花園分署の建て替え工事、および上柴分署の建て替えに伴う設計業務委託を行います。2つの分署を整備することで時代に即した1署7分署すべての再整備が完了します。

消防力の基盤を整備することで、消防本部全体の災害対応力の向上を図ります。

消防総務課 (☎571-0900)



公園維持管理事業 2,000万円

仙元山公園再整備基本計画 策定業務委託

幅広い世代のかたがスポーツを楽しみ、健康増進が図れる仙元山公園となるよう、さまざまなかたの意見を伺いながら、今後の再整備に向けた検討と準備を進めます。これにより仙元山公園エリアの魅力の向上を図ります。

公園緑地課 (☎574-6657)

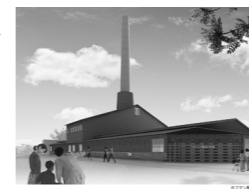


文化財施設管理活用事業 5億2,275万円

ホフマン輪窯 管理活用棟建設

管理活用棟内にシアタースペースなど、ホフマン輪窯内に展示およびレストランスペースの整備を進め、令和9年度中のオープンを目指しています。貴重な歴史的建造物を後世に継承し、観光拠点としての魅力を向上します。

文化振興課 (☎577-4501)



地域医療推進事業 1,335万9千円

来所型小児科オンライン診療

日曜日・祝日の夜間におけるこどもの急な病気に対して、看護師同席の下、オンラインで小児科医の診療が受けられます。対面診療と同等の質の高い診療を行うことが可能となり、診療後は薬局で薬を受け取ることができます。自治体として全国初の試みにより、地域の医療環境の充実を図ります。

保健センター (☎575-1101)



小学校施設整備維持事業 14億6,400万6千円

小学校体育館エアコン整備

昨年度の中学校に続き、今年度は市内公立小学校全19校の体育館にエアコンを設置します。これにより市内すべての公立小・中学校の体育館にエアコンが整備され、教育活動中の熱中症対策および災害時に避難所として利用する際の生活環境の改善を図ります。

教育施設課 (☎573-9280)



コミュニティバス運行事業 1,200万円

デマンドタクシー 予約システム導入

コミュニティバス『くるリン』の再編と利便性向上に取り組みます。再編後は、『デマンドタクシー』として、自宅からの乗り降りを実現。台数の拡充や新たな予約システムの導入、コールセンターの充実も図ります。

都市計画課 (☎574-6654)



ごみ処分関係事業 131万6千円

リチウム蓄電池などの 定期回収

毎月第3水曜日(午前8時30分～正午)に、市役所本庁舎および各総合支所、深谷清掃センターを回収拠点としてリチウム蓄電池などの定期回収を実施します。市が適切に回収することでごみ収集車両などの火災を防止し、安全なごみ処理を行います。

環境衛生課 (☎578-7332)



こども館運営事業 1億4,420万7千円

『こどもふっかパーク』オープン

0歳から18歳(高校生)までのこどもたちが安心して遊び、学び、成長できる屋内遊戯施設『こどもふっかパーク(深谷市こども館)』が4月1日にオープン。大型屋内遊具やデジタル技術を活用した遊具も導入し、子育てを支える魅力ある拠点を創出します。

こどもふっかパーク (☎598-7358)

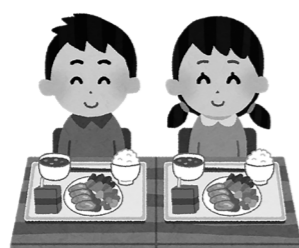


小学校給食事業・中学校給食事業 6億7,204万7千円

【第1号補正予算】 小・中学校の給食無償化

国の方針を踏まえ、公立小学校の給食を無償化します。中学校は、国の交付金を活用し給食を無償化し、交付金終了後も市の負担で無償化を継続します。さらに、私立の小・中学校に通う児童・生徒の給食費相当額の給付も実施し、保護者の経済的な負担を軽減します。

教育総務課 (☎574-5811)



公共施設の在り方検討事業 448万8千円

新公共施設予約システムの 運用開始

新たな公共施設予約システムは、電子決済機能を導入し(一部施設を除く)、施設の予約から支払いまでオンライン上で完結することができます。公共施設の予約がよりスムーズとなり、利用者の利便性が向上します。

公共施設改革推進室 (☎568-5009)



深谷グリーンパーク管理運営事業 2,700万円

深谷グリーンパーク 再整備アドバイザー業務委託

4つのキーワード『持続・安全』『花と野菜』『観光の連携』『多世代交流』をテーマに『いつまでも楽しいみんなの笑顔あつまる水とみどりのエスパシオ(空間)』というコンセプトを設定し、民間活力を導入した再整備を推進します。

農業振興課 (☎577-3298)



戸籍住民基本台帳整備管理事務費 9,998万9千円

マイナンバーカード取扱窓口の開設

年々増加するマイナンバーカード関連業務に対応するため、マイナンバーカード取扱窓口をキララ上柴行政サービスセンター(アリオ深谷3階)に開設しました。マイナンバーカードの受け取りなどの各種手続きが出来るようになり、利用者の利便性が向上します。

市民課 (☎574-6640)

